TOKYO BAPTIST CHURCH 東京バプテスト教会
Weekend Message
週末メッセージが聞けます http://tokyobaptist.org/sermons/

イエスと共に嵐のあとで
マルコによる福音書 5:1-20

2023 年 6 月 24 日&25 日
ジョー・カミナガ〈ジョエル〉 牧師

ご挨拶

皆さん、こんにちは。TBC 渋谷にいる皆さんにお会いできて嬉しいです。TBC 三郷、TBC ウエストトウキョウの家族、スバ・バプテスト教会、トンガ・バプテスト教会、福岡国際キリスト教会にいる兄弟姉妹と友達の皆さん、そして日本や他の国からオンライン礼拝に参加している皆さん、こんんちは。礼拝に参加してくれてありがとうございます。そして神の御言葉からメッセージをする特権と機会を与えられたことに感謝します。 祈りましょう！

はじめに

昨年の 2022 年 5 月に、「イエスと共に嵐の中で」というタイトルのメッセージをしました。そのメッセージの聖書箇所はマルコによる福音書 4:35～5:1 で、これからお話しする前の箇所でした。 今週のメッセージのタイトルは「イエスと共に嵐のあとで」です。

前回のメッセージでは、4 つの大切な真理についてお話ししました。
1. イエスと共にいると（または、共にいても）、嵐のない人生を送れるという保証はない。
2. イエスと共にいると（または、共にいても）、どうしても信仰を試される時が来る。
3. イエスと共にいると、イエスの礼拝するためにイエスの力を見る。
4. イエスと共にいると、間違いなく目的地へ辿り着ける。

イエス自身が弟子たちに湖の向こう岸へ渡るようにいって、彼らを目的地まで連れていきました。旅の途中で、イエスは大きな嵐にあったときにでさえ、いくつかの教訓を伝えました。
そして今、イエスと弟子たちは嵐の後、「湖の向こう岸のゲラサ人の地方」にいます。 なぜイエスは弟子たちをそこへ連れていったのでしょうか。そして目的は何なのか、見ていきましょう。

マルコによる福音書 5:1-20 を読みましょう。

1 一行は、湖の向こう岸にあるゲラサ人の地方に着いた。2 イエスが舟から上がられるとすぐに、汚れた霊に取りつかれた人が墓場から出て来て、イエスに会った。3 この人は墓場を住みかとしており、もはや誰も、鎖を用いてさえつなぎ止めておくことはできなかった。4 度々足枷や鎖でつながれたが、鎖を引きちぎり足枷を砕くので、誰も彼を押さえつけることができなかったのである。5 彼は夜も昼も墓場や山で叫び続け、石で自分の体を傷つけていた。6 イエスを遠くから見ると、走り寄ってひれ伏し、7 「いと高き神の子イエス、構わないでくれ。後生だから、苦しめないでほしい」と大声で叫んだ。8 イエスが、「汚れた霊、この人から出て行け」と言われたからである。9 イエスが、「名は何と言うのか」とお尋ねになると、「名はレギオン。我々は大勢だから」と答えた。10 そして、自分たちをこの地方から追い出さないようにと、しきりに願った。11 ところで、その辺りの山に豚の大群が飼ってあった。12 汚れた霊どもはイエスに、「豚の中に送り込み、乗り移らせてくれ」と願った。13 イエスがお許しになったので、汚れた霊どもは出て、豚の中に入った。すると、二千匹ほどの豚の群れは、崖を下って湖になだれ込み、湖の中で溺れ死んだ。14 豚飼いたちは逃げ出し、町や村にこのことを知らせた。人々は何が起こったのかと見に来た。15 そして、イエスのところに来ると、レギオンに取りつかれていた人が服を着、正気になって座っているのを見て、恐ろしくなった。16 成り行きを見ていた人たちは、悪霊に取りつかれた人に起こったことや豚のことを人々に語って聞かせた。17 そこで、人々はイエスにその地方から出て行ってもらいたいと願い始めた。18 イエスが舟に乗ろうとされると、悪霊に取りつかれていた人が、お供をしたいと願った。19 しかし、イエスはそれを許さないで、こう言われた。「自分の家族のもとに帰って、主があなたにしてくださったこと、また、あなたを憐れんでくださったことを、ことごとく知らせなさい。」20 そこで、彼は立ち去り、イエスが自分にしてくださったことを、ことごとくデカポリス地方に言い広め始めた。人々は皆驚いた。

この聖書箇所を 3 つに分けましょう。それぞれの部分は、私たちに霊的な真理を教えてくれます。

- マルコによる福音書 5:1-13：イエスと共にいれば、あなたの人生は完全に聖められる。
- マルコによる福音書 5:14-17：イエスと共にいれば、あなたのコミュニティは完全に変えられる。
- マルコによる福音書 5:18-20：イエスと共にいれば、あなたの人生のミッションが明確になる。

1. イエスと共にいれば、あなたの人生は完全に聖められる。〈マルコによる福音書 5:1-13〉

男性についてよく見てみましょう。彼はどんな状態にいたでしょうか。この男性の状況を説明する、4 つの汚れたものがあると思います。

汚れた人々：男性は汚れた人々に属しています。デカポリスに在るゲラサネス地方の出身です。「デカポリス」とは「10 の都市」という意味です。 デカポリスにあるこの地域は、住人の大半が異邦人です。ユダヤ人は少数派でした。 旧約聖書では、異邦人を「汚れている」と考えられていました。

汚れた霊：男性は汚れた霊、つまり悪霊に取り憑かれていました。 汚れた霊が憑いているので、とても強くなっていますが、おそらくは経験している苦しみや痛みのために、よく大声で叫んだり、自分の体を切りつけたりします。この聖書箇所では例えば相撲の横綱やヘビー級柔道家でも、この男性を抑えられなかったであろうことがわかります。

汚れた場所：男性は死体が埋葬されている墓場に住んでいます。 旧約聖書には、「どのような死者の体でも、死んだ者に触れた者は七日間、汚れる。」とあります（民数記 19:11）。 男性は汚れた場所に隔離されていました。

汚れた豚：男性は豚の大群の近くにいます。 旧約聖書の律法では、豚はひづめが均等に分かれているのに反芻しないため、汚れているとされていました。 ユダヤ人は豚肉を食べたり、死骸に触れたりすることが禁じられています。

汚れた人々、汚れた霊、汚れた場所、そして汚れた豚とは、その男性の環境と状態を言い表しています。

明らかに、男性は絶望的で、耐えられないような「しょうがない」状況にあります。でも、反対側の岸から、その男性を深く気にかけている人が彼のことを見ています。その人は湖を渡ることにしました。 渡り終えると、男性に訪ねます。渡ってきたこの人についてはまだ言えることがあります。その人は男性を深く気にかけているだけでなく、その男性に取り憑いた汚れた霊の上に権威もあります。

面白いことに、汚れた霊はその人がいと高き神の子だと知っています。その人の名前は何でしょうか。イエスです！ イエスが命じれば、波と海がいうとおりに静まります。弟子たちでさえも、その人が誰だったか知りませんでした。「『一体この方はどなたなのだろう。風も湖さえも従うではないか』と互いに言った。」（マルコによる福音書 4:41b）。 弟子たちは、イエスが誰なのか汚れた霊から答えを得ます。

そこで、イエスは汚れた霊－たくさんいたので、名はレギオン―に、その男性から離れるように命じます。たくさんいる悪霊たちは、イエスに自分たちをその地域から追い出すのではなく、豚の所へ送るように頼みます。 そしてイエスは悪霊たちにそうすることを許しました。ここで、イエスが悪霊にさえ優しさと憐れみがあることがわかります。イエスは、悪霊を恐れたり、怖気づいたりしません。

その男性は聖められ、いっぱいいた悪霊から解放されました。きっとものすごい平和と自由を身をもって知り、大きな安堵感に包まれたに違いありません。

あなたはこう思うかもしれません、私は汚れすぎている、と。 何をしてきたかを聞いても、きっと信じられない、と。あなたは赦されないと思っています。罪悪感でなかなか眠れません。落ち着きもなくなります。自分の人生や身についた悪い習慣を変えたいと思っていますが、何も変わりません。そう、あなたは絶望的で、耐えられないような「しょうがない」状況にいるかもしれません。 でも、反対側の岸であなたを心から気にかけている誰かが、今あなたに会いに来ています。彼は湖を渡って、あなたのもとにやって来ます。彼に近づいて、自分を聖めるように、自由にしてくれるようにと頼みますか？彼の名前を大声で呼びますか？その人の名はイエスです！

2. イエスと共にいれば、あなたのコミュニティは完全に変えられる。（マルコによる福音書 5:14-17）

14 豚飼いたちは逃げ出し、町や村にこのことを知らせた。人々は何が起こったのかと見に来た。15 そして、イエスのところに来ると、レギオンに取りつかれていた人が服を着、正気になって座っているのを見て、恐ろしくなった。16 成り行きを見ていた人たちは、悪霊に取りつかれた人に起こったことや豚のことを人々に語って聞かせた。17 そこで、人々はイエスにその地方から出て行ってもらいたいと願い始めた。

今出来事は、このコミュニティの人々にとって、自分が変えられ、自由と人生が聖められる、つまりは救いを経験する素晴らしい機会です。でも、彼らはそれを拒みました。これは罪深い人間の自然な反応です！人々が見聞きしたものに対する反応－恐怖－はとても理解できます。彼らは恐れていたのです！なぜ、誰かが悪霊から解放され、裸でいるのはなく服を着て、正気になり、自分を傷つけなくなるのを見て恐れるのでしょうか。何故でしょう。それは、彼らが持っていた恐れは本質的に否定的なもので、神から遠ざからせるものだからです。私たちも時々、あるいはよくそうなるのではないでしょうか。神が自分の人生に何かをなさるとき、私は神に抵抗しようとします。聖霊を通して聞こえる神の声に抵抗しようとします。

人が神に近づくこうと思わせるような恐怖があります。 このような恐怖は、本質的に敬虔または敬意を表します。聖書にはこう書かれています。「主を畏れることは知恵の初め、聖なる方を知ることが分別。」（箴言 9:10）。

新しく生まれた信仰者として、キリストに従う者になっても、あなたを知っている誰もが喜ぶわけではありません。最も近い人たちが、キリストに従うという決断に疑問を抱いても驚かないでください。彼らが口でいわなくても、非言語的な表現で、あなたの決断に不満があるとわかります。

なぜ人々はイエスに自分たちのコミュニティを去るように言ったのでしょうか？私たちが知っているこの箇所の背景を考えると、彼らがイエスに立ち去るように頼む理由がいくつかあります。

- 今のままが良いから。変化を好まないのは、それが不便で不快だからです。文化的および伝統的な慣習が脅かされました。
- 主導権を自分たちで持ちたいから。まったき権威を持って外からやって来たイエスは、彼らの所有物や成し遂げたことを脅かします。そのため神の権威に抵抗することを選びました。イエスを受け入れることが自分たちの人生でやりたいことと矛盾するからです。
- 自分たちの信仰体系や宗教を維持したかったから。おそらくイエスをユダヤ人の神とだけ見ていて、異邦人の神としては見ていなかったのでしょう。もしイエスを歓迎すれば、養豚業をやめなければいけない人も出るかもしれません。さらにいえば、自分たちに偶像を捨てないといけなくなります。

例：福音を受け入れたミゾ族
インド北東部のミゾラム州は、福音によって根本的かつ急速な変化をとげました。10 年前に、私はソーマ牧師と一緒に訪れました。ご存じの方もいると思いますが、ソーマ牧師は数年前まで TBC の牧師でした。彼はミゾラム州出身です。ミゾ族と呼ばれるこの人々はその昔、恐ろしいヘッドハンター（首狩り族）として知られていました。1894 年、イギリスの宣教師の伝道によって初めて福音がミゾラムに伝えられました。 50 年後、ミゾ族の多くの人々が福音を受け入れ、キリスト教に改宗しました。 20 世紀の終わりまでに、ミゾラム州はインド全土で最もキリスト教徒の多い州になりました。現在、彼らはソウルハンター（魂の狩人）として知られ、インド国内外に宣教師を派遣して福音を伝えています。

イエスを拒まず、去るように言わなければ、あなたのコミュニティ、職場、家族、民族、クラス、スポーツクラブはイエスと共に完全に変えられます。それは個人から始まり、そこから私たちはキリストを通して神の素晴らしい働きを目にすることになるのです。

TBC ミッションの近況
これから、TBC のミッションの活動についてお話しさせてください。

米国テキサス州のサウスクリフ・パブテスト教会との親交
日付：6 月 3 日（金）～11 日（日）
主な目的：キリストの福音を伝える。
（1）サウスクリフのチームメンバー10 名と TBC10 名、そして TBC ウエストトウキョウのメンバーが参加しました。
（2）3 名の方がキリストを受け入れました。
- TBC ウエストトウキョウ周辺でのプレイヤー・ウォーキングで、フィリピン人の女性が救われました。その日に、教会員の誘いで教会に来てくれました。
- 日本人の男性が、平日に代々木公園で行った伝道で救われました。
- 香港人の男性が、土曜日の午後に TBC 渋谷で行ったイングリッシ

ュカフェで救われました。
(3) 多くの方がそれぞれのかたちで、ゴスペルに感銘をうけています。

日本と世界でのミッションへの献金
キリストの体として、神は私たちに福音を伝えるという目的、つまり信仰を持っていない人に福音を伝えるという目的を与えています。TBC でこの目的に参加する方法のひとつは、日本および世界宣教の提供を通じて寄付することです。今日のメッセージの資料の中には、今年度(2023 年 6 月～2024 年 5 月)のミッションプロジェクトのリストと必要予算の概要が書かれています。私たちの献金は100%ミッションに寄付されます。 私たちの取り組んでいるもの例を挙げます:
・日本で難民申請をしている様々な国の人たちに、伝道を行っています。
・フィリピンで様々な年齢の孤児 10 人を支援しています。
・日本の TBC 教会員や他の人たちの伝道活動を支援しています。
・TBC の伝道チームが送り出されたとき、伝道地での支援をしています。
・インターナショナル・ミッション・ボードのロッティ・ムーン献金に寄付しています。
・ハワイ太平洋バプテスト連盟のスー・ニシカワ献金に寄付しています。

寄付の目標額:10,000,000 円

2022 年 6 月～2023 年 5 月の決算報告
資金の残高(2022 年 5 月 31 日時点):5,440,405 円
献金:8,097,348 円*
支出:5,249,053 円*
資金の残高(2023 年 5 月 31 日時点) :8,288,700 円*
(注:*今年度の決算期が終わっていないため、金額が変更される可能性があります。)

TBC 家族と友人の皆さんのミッションに対する寛大な献金に感謝します！

3. イエスと共にいれば、あなたの人生のミッションが明確になる。(マルコによる福音書 5:18-20)

18 イエスが舟に乗ろうとされると、悪霊に取りつかれていた人が、お供をしたいと願った。19 しかし、イエスはそれを許さないで、こう言われた。「自分の家族のもとに帰って、主があなたにしてくださったこと、また、あなたを憐れんでくださったことを、ことごとく知らせなさい。」20 そこで、彼は立ち去り、イエスが自分にしてくださったことを、ことごとくデカポリス地方に言い広め始めた。人々は皆驚いた。

神の子イエスにしがみつきたくないと思う人がいるのでしょうか？深く気にかけてくださったイエスと一緒にいたくない人はいるのでしょうか。安心していられるイエスと一緒に行きたくない人はいないでしょう。男性がずっとイエスといたいと言い張ったとしても、驚きません。もし自分が汚れた悪霊のせいで取り憑かれて自分を傷つけていたのに、イエスのおかげでその絶望的な状態から解放されたとしたら、あなたはイエスと一緒にいさせてほしいとイエスに懇願するはずです。

しかし、イエスはこの男性の願いにどう答えたでしょうか。イエスは男性が一緒に来ることを許さず、自分の民に 2 つの事を証して欲しいと言います。それは、主が男性のためにどれほどのことをしてくれたのかと、男性をどれほど憐れんでくださったのかの二つです。

私の認識が間違っているかもしれませんが、悪霊に取り憑かれていたこの男性は、最初のキリスト信仰者であると同時に、イエスがその地域に派遣した最初の宣教師でもあります。男性はイエスに従い、イエスが自分にしてくれたことを宣言しました。男性の証を聞いた人々は驚きました！

イエスと一緒にいるほうが、他の人と一緒にいるよりも楽です（アーメン！）。そして、あなたにとって、私といるよりもイエスといるほうがずっと楽です。でも、ここに逆説的な点があります。イエスと一緒にいるのなら、私や他の人たちとも一緒にいることを意味します。

18 イエスは、近寄って来て言われた。「私は天と地の一切の権能を授かっている。19 だから、あなたがたは行って、すべての民を弟子にしなさい。彼らに父と子と聖霊の名によって洗礼(バプテスマ)を授け、20 あなたがたに命じたことをすべて守るように教えなさい。私は世の終わりまで、いつもあなたがたと共にいる。」(マタイによる福音書 28:18-20)

聞きましたか。私たちが福音を伝える時、手を差し伸べたり、教えたり、助けたりする時、イエスは「私は世の終わりまで、いつもあなたがたと共にいる。」と約束します。

イエスに従っているなら、あなたは語るべき証があるはずです。あなたが救われたときに、神から達成すべき使命が与えられました。それは神のことと自分の証を家族、友人、親戚、同僚、クラスメートと分かち合うことです。 神があなたに何をしてくださったか、どのようにしてあなたを憐れんでくださったか話したことがありますか？

個人の行動:そろそろ参加してみませんか
(1) まわりの人に知らせましょう！
自分も皆さんもこの 1 カ月の間に「主があなたのためにどれほど多くのことをしてくださったか、そしていかにあなたを憐れんでくださったか」を誰かに伝えることで、このメッセージを適用させることにぜひ挑戦していただきたいと思います。私たちが主に従うとき、主が私たちの間でどのように動いてくださるか見るでしょう。

(2) ミッション祈祷のチームに参加しましょう！
・期間限定の 3 カ月です:2023 年 9 月～11 月
・月に 2 回、Zoom で祈り会をします(水曜日か金曜日の夜になると思います)
・活動内容:日本と日本に住んでいる人々のために祈ります

(3) ジョイカフェのチームに参加しましょう！
・月に 1、2 回、礼拝の後にジョイカフェを開きます。
・活動内容:ノンクリスチャンと一緒に、またはノンクリスチャンのために祈って、福音を分かち合います。
・メンバーはトレーニングを受けられます！

(4) ゴスペル・フィートチームに参加しましょう！
・月に一回 2 時間、日曜日の 11 時または 13 時の礼拝の後に行います〈2023 年 9 月からは毎月第 3 日曜日になる予定です〉。
・渋谷駅、代官山駅、中目黒駅の周辺で、プレイヤー・ウォークをしたり、ゴスペルの小冊子を配布したり、福音について話したりします。

より詳しい情報や上記チームへの参加に興味がある方は、ジョエル牧師宛てにメールしてください(joel@tokyobaptist.org)。

(5) ミッションクラスに参加しましょう！
・クラス 401(人生の使命を発見する):7 月 1 日(土)13 時半から

17時半、TBC 渋谷のランゲホール(地下)。参加条件:クラス 301 修了者。
・クラス 402(キリストの伝え方):7 月 15 日(土)13 時半~16 時半、TBC 渋谷のランゲホール。参加条件:クラス 101 修了者。

参加登録はこちらのリンクからお願いします: https://t-b-c.us/classes

弟子たちは、嵐のなかでもイエスといました。今は、汚れた伝道の地で、自然の上だけでなく悪霊の上にもイエスの力と権威を目にしています。傍観者として、聖められた男、イエスを拒んだコミュニティ、そして人々に告げるためにイエスに従った男性を実際に見ていました。嵐の後、イエスは弟子たちに彼ら自身の証、つまり弟子たち一人ひとりが経験し、目撃したことを伝えてほしいと言います。マルコによる福音書 6 章で、イエスは 12 人の弟子を送りだし、説教したり、悪霊を追い出したり、病人たちを癒すように言います。

一人ひとりが経験したであろう個人的な嵐や、皆さんが経験した新型コロナウイルスの感染という 3 年間の嵐が過ぎ去った今、イエスが皆さんと私に、イエスの証、福音の証、そして私たち個人の証を分かち合うことを望んでいると心から信じています。人が罪から解き放たれ、神から与えられた人生を生きられるように、イエスの力と権威を喜んで受け入れましょう!

祈りましょう!

ジョー・カミナガ〈ジョエル〉牧師
東京バプテスト教会

指定のない限り聖書は協会共同訳を使用しています。
聖書 協会共同訳: ©日本聖書協会
Japan Bible Society, Tokyo 2018

キリストのことをもっと知りたい
洗礼を受けたいという方はこちら
メール:cc@tokyobaptist.org
もしくは:https://t-b-c.us/cc

TBC Life 申込み
(毎週届くメールニュース)
http://t-b-c.us/tbclife

SG レッスンの PDF
https://t-b-c.us/sg2523jp

★クラス 401
ミッションの発見
7 月 1 日(土)13:30~17:30
参加条件: クラス 101、201,301 を修了した方
https://t-b-c.us/classes

★クラス 402
キリストの伝え方
7 月 15 日(土)13:30~17:30
参加条件: クラス 101 を修了した方

オンライン献金
http://t-b-c.us/give

スモールグループ参加申込み
http://t-b-c.us/sgsu